

デジタルツイン、メタバースを実現

F8VPS FORUM8 VIRTUAL PLATFORM SYSTEM Web VR プラットフォーム



▲メタバース体験を実施 (CEATEC 2022 フォーラムエイト展示ブース)

フォーラムエイト

Web VRプラットフォーム

フォーラムエイト(東京都港区、伊藤裕二社長)は、2020年にデジタルツイン、メタバースを構築・展開可能なWeb VRプラットフォーム「F8VPS(フォーラムエイトバーチャルプラットフォームシステム)」をリリースしており、現在、リアル展示会が再開しつつある中で、F8VPSを前面に出展する機会が増えている。

「XR総合展 秋」で体験型展示

F8VPSは、3DVR空間をクラウドで展開可能なアプリのフレームワーク。PC、タブレット、スマホなどのWebブラウザで、アバターを用いて現実と同様のリアルタイムコミュニケーションができるクラウドシステムとして、都市空間、バーチャルオフィス、バーチャルショールーム、バーチャル工場見学など、顧客の目的や要望に応じたメタバースのシーンを自由に作成可能。展示会には積極的に出展している同社だが、「第2回XR総合展 秋」(10月26-28日/幕張メッセ)では、「デジタル世界を来場者に体験してもらう」と話す。また「テレワークに活用できるバーチャルオフィスの他に、広報・PR、販促などを目的とした空間やイベントなど、さまざまな用途で活用できる。

フォーラムエイトが主催する「FORUM8 3Days+1 Eve」が、11月15-18日(15日は前夜祭)に東京都港区の品川インターシティホールで開催される。このイベントでは毎年新たなソフトウェア、システム事例、研究開発が発表される。今年も、デジタルツインやメタバースが急速に認知され、VR、XRの活用、XR TechによるDXへの展開など企業、国、自治体での動きが活発化した。そこで生まれる新しい働き方、企業活動での大きな変化が注目されている。

新田氏は「当社では基幹ソフトウェア『UC-win/Road』シリーズを中心としたシミュレーションシステムを構築してきた実績がある。これを背景に開発したF8VPSは、あらゆる業種に対応し、ユーザーごとの新しい使い方を作り出していく」と話す。同社は、WRC(世界ラリー選手権)2022の公式スポンサーを務める日本ラウンドのフォーラムエイトラリースタッフが11月10日から開催されるが、これに関連して「バーチャルラリージャン」の空間を作成、F8VPSでのメタバース体験を提供する予定だ。同社は創業以来、ソフトウェアパッケージ開発技術を基盤として、構築物設計をはじめ、土木・建築設計を支援するソフトウェア・技術サービスを提供してきた。基幹ソフトウェア「UC-win/Road」シリーズは、VRを中心としたシミュレーションシステムとして、土木・建築や交通・自動車、そしてエンターテインメント分野などで利用が広がっている。F8VPSのリリースで、さらに多くの分野で利用されるようになってきている。

デザインフェスティバル開催 3年ぶりにリアル会場を実施

フォーラムエイトが主催する「FORUM8 3Days+1 Eve」が、11月15-18日(15日は前夜祭)に東京都港区の品川インターシティホールで開催される。このイベントでは毎年新たなソフトウェア、システム事例、研究開発が発表される。今年も、デジタルツインやメタバースが急速に認知され、VR、XRの活用、XR TechによるDXへの展開など企業、国、自治体での動きが活発化した。そこで生まれる新しい働き方、企業活動での大きな変化が注目されている。

「コロナ禍があり、3年ぶりのリアル会場での開催となるだけに、多くの人に会場に足を運んでもらい、文字どおり『再会』を期待したい」と話す。会場では、ライブ華道、VR Live Painting & Music、クラシックピアノストと東京2020開会式振付師によるステージ、光と映像を駆使したボイのステージ、クリプトアート展示ONLINEの新作『Bamboo Dome』の展示と盛りだくさんの内容となっている。

【Day1】初日(16日)には、自動運転についての講演を数多く実施する。自動運転の開発・進化の流れは今後も永続的に続くもの

技術動向や事例発表 オンラインでも

と考えられ、Maas(Mobility as a Service)やスマートシティの展開で見られるとおり、都市やまちづくりの変革にもつながっている。

◆デジタル庁が登壇 フォーラムエイトでは、従来の4省庁(経済産業省、総務省、国土交通省、警察庁)に加え、今年から新たにデジタル庁の専門家も登壇し、合計で5省庁の担当者が「第7回自動運転カンファレンス」で特別講演をする。

◆初のVRシステム・オブザ・イヤー 第21回3DVRシミュレーションコンテストでは、今回初めてVR推進協議会の選考により変えるための思考法」

【Day2】17日には、特別講演と「デザインを本質から変えるための思考法」

【Day3】18日は、WCOMD開発のコンクリート工学研究の第一人者、横浜国立大学教授、前川宏一氏を招き、特別講演を実施。

その後、「第9回ナショナルレジリエンス・デザインアワード表彰式」では、国土強じん化や防災に貢献する多様な技術作品が発表される。また、最先端表現技術利用推進協会による「第6回羽倉賞発表・表彰式」を開催。新田氏は「今年はコロナ禍以前に戻った形での開催が、リアル会場ではフルスペックでの開催を予定している。並行してオンラインでも開催するが、今年はずいぶんリアル会場に足を運んでもらい、イベントを満喫してほしい」と呼びかけている。